

出題の意図

入試年度	令和7年度
学部	医学部
選抜区分	学士編入学者選抜
教科／科目	学科試験2
出題の意図	<p>本試験は、生命科学および基礎医学に関する知識を基盤として、医学的現象や病態を統合的に理解し、与えられた情報をもとに論理的に判断する能力を評価することを目的として出題した。</p> <p>問題の多くは症例を基盤とした形式とし、患者の症状、身体所見、検査所見などの情報をもとに、病態生理や関連する基礎医学的機序を理解しながら解答することを求める内容とした。これにより、単なる知識の暗記ではなく、基礎医学の知識を臨床的状況の中で適切に活用できるかを評価することを意図している。</p> <p>具体的には、分子生物学、遺伝学、生理学、病理学、免疫学、微生物学などの基礎医学領域の知識を背景として、内分泌や免疫による生体調節、感染症の病態、組織学的変化などについて理解しているかを問う問題を出題した。また、図表や実験データを含む問題を通して、生命現象を科学的に考察する能力についても評価することを目的とした。</p> <p>これらの問題を通して、医学を学ぶ上に必要な生命科学の理解力に加え、症例をもとに病態を論理的に考察する能力を総合的に評価することを意図した。</p>